

新しい公共支援事業の成果等報告
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入]新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)
受託者名	四日市NPO協会 ※ 旧四日市NPO セクター会議 (平成24年5月12日名称変更)
実施期間	平成23年度:平成23年10月1日~平成24年3月31日 平成24年度:平成24年4月1日~平成25年3月29日
受託金額	平成23年度決算額:3,933,200円 平成24年度決算額:6,055,600円
事業概要	※概要がわかるように100字~150字程度で簡潔にまとめてください。 資金を循環させる「市民活動ファンド」、人的資源を循環させる「人財ポケット」、物的資源を循環させる「モノバンク」の3つで構成される官民連携による市民活動への資源循環の仕組みを構築するため、平成23年12月に管内のステークホルダーによる企画委員会を立ち上げ、平成24年12月に「一般財団法人ささえあいのまち創造基金」を設立した。
受託内容	※内容とともに、支援のアウトプット(具体的な実施事項、数量、期間等)について記載してください。 上記の資源循環の仕組みを構築するとともに、事業期間内に寄付金配分先の募集(200万円程度)、人材の登録とマッチング、モノバンクの登録とマッチングを開始する。
成果の達成状況	[成果の達成目標] ■平成23年度に達成しようとする成果 ①ファンドレイジング交流会等によるファンド原資獲得 ②不用品・遊休地等の物件登録 ■平成24年度に達成しようとする成果 ①各種の寄付によるファンド原資獲得と多様な主体による財団法人設立 ②財団法人ささえあいのまち創造基金(仮称)による資源循環のしくみの確立 ・市民活動を支援する寄付システムの確立 ・第1回寄付の市民活動への配分の実施 ・不用品・遊休地等の物件登録とマッチング ・人財ポケット登録と地域ニーズとのマッチング ③財団法人のキックオフイベント及び各種広報手段による市民への周知 ※達成に向けて行った工夫 または未達成の原因及び講じた対応策を記載してください。 ファンド原資獲得に関しては四日市NPO協会の会員団体と人財ポケットよっかいちの会員を中心とした寄付集めサポーターを組織し、各方面に積極的に声掛けを行った。そのため、約2か月間で300万円の寄付金を集めることが出来た。

	<p>財団法人の設立については、評議員・理事として多様な主体から参画して頂くことができた。特に四日市市自治会連合会会長と四日市NPO協会会長の共同代表とできたことは、今後の市民セクターの連携強化に相当な効果が期待できる。</p> <p>ファンドの原資獲得に多くの力を割くこととなったため、「人財ポケット」「モノバンク」については進捗が遅れが生ずることとなってしまった。「人財ポケット」については、平成25年度四日市市事業として財団法人が受託する見込みとなっており、推進体制が確立されている。「モノバンク」についても人財ポケット会員を登用し、推進していく予定である。</p>	
	平成23年度の成果物	平成24年度の成果物
	添付 あり ・ <input type="checkbox"/> なし	添付 <input type="checkbox"/> あり ・ なし
		<p>①基本財産寄付募集チラシ</p> <p>②ささえあいのまちキックオフフォーラムチラシ・当日資料</p> <p>③ささえあい基金配分団体募集要項 (http://mie-ssb.jp/info/463.html)</p> <p>④ささえあいのまち創造基金リーフレット</p>
	<p>※成果物がインターネットで公開されている場合は当該ウェブページのURLを記載してください。但し、公開されている場合であっても現物の提出をお願いします。</p> <p>※番号は平成23年度から順に記載していただき、適宜増減してください。</p>	
得られた成果及び自己評価	<p>※支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファンド原資300万円を市民の寄付により達成し、多様な主体による一般財団法人「ささえあいのまち創造基金」を設立したことは最大の成果である。 ・特に、この財団をNPOと地縁団体の2人代表制にしたことは、市民セクターの強化にとって非常に意義のあることである。 ・ファンド原資以外に、さらに約200万円の寄付を集めることができ、市民の寄付文化の醸成に寄与できた。(2012年度末の寄付金総額 5,017,522円) <p>2013年3月にはこの200万円の第1回配分団体募集を行ったが、これはささえあい基金の意味を寄付者・市民にも市民活動団体にも実感してもらうため取り組んだものであり、24団体の応募があるなどこの事業への高い関心がうかがえた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金だけでなく、人・モノ・お金の3本柱による資源循環を推進する基盤が出来たことも、今後の継続的な展開を行う上で意義深い枠組みができた。 	
	評価リンク	<input checked="" type="checkbox"/> S : 特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A : 優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B : 一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C : 限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D : 成果が得られなかった (該当する評価に <input checked="" type="checkbox"/> を付けてください。)

2. その他参考となる資料の添付 あり ・ なし

(添付資料がインターネットで公開されている場合は当該ウェブページのURLを記載してください。但し、公開されている場合であっても現物の提出をお願いします。)

資料名：一般財団法人ささえあいのまち創造基金 現在事項全部証明書

資料名：新聞記事等